

感謝の気持ちを伝える

6月の全校朝会では、児童会が中心となって、日頃自分たちを見守り支えて下さっている方々をお迎えして「感謝の会」を行いました。

5月28日に川崎市で発生した事件や大津市での事故など、子ども達が被害者になってしまう大変痛ましい出来事が起きております。

子ども達には「自分の身は自分で守る」ことを意識させ、指導しているところですが、今後、学校・家庭・地域及び関係機関の連携を更に充実させていくことが大切だと考えています。

当日会に参加して頂いた方々は、日頃から皆さんの安全を見守って下さっている見守り隊の方や、子ども達の心が豊かになることを願って、本の読み聞かせをして下さっている葉の会の方でした。この方々は、本当に江戸小の子ども達の健やかな成長を願って、日々頑張っておられます。本当に有難いことです。

代表児童からは、「いつも安全を見守って下さり、楽しいお話をたくさん聴かせて頂きありがとうございます」というお礼の言葉がありました。

その後、「感謝の気持ちをこめて校歌をプレゼントしましょう」と司会の児童からの呼びかけに応じ、子ども達は今まで聞いたことのないような大きな声で校歌を歌っていました。その歌声に、子ども達の感謝の気持ちが表れていました。

会では、他にも自分たちを支えて下さっている方として、学校PTAの「お話玉手箱」の方について、児童会から紹介がありました。

子ども達には、自分たちを見守って下さる方々がたくさんいらっしゃるということに気づかせ、その方達に対する感謝の気持ちをもって接していく態度を育てていきたいと考えております。

今後、子ども達が日頃から家庭や地域の方と交わす挨拶にも、感謝の気持ちが伝わるとうれしいと思っています。